



輝け！北っ子！

学力テストを実施しました ～今の力を知り、次に生かす～

30日、全校で学力テストを実施しました。教科は国語・社会。このテストは正式には「教研式標準学力検査 NRT」といい、各教科の「内容」に合わせた領域で構成され、今の学力について全国基準に照らして客観的に把握できるテストになります。このテストを通して、子どもたちに基礎的・基本的学力がどの程度定着しているかの確認し、さらに結果をもとにして3学期中にフォローアップをしていく予定です。

このテストは、普段行っている市販のテストよりもぐっと問題数も多く、問題の文章量も多くなっています。単に知識を問われるだけでなく、もっている知識を総合的に関連させながら解答を導き出していく問題も多く、子どもたちにとってはかなり抵抗感のある、難易度の高い問題だったのではないのでしょうか。

結果については後日ご家庭にもお届けしますので、ご確認ください。本日31日には算数と理科のテストを行いました。



ちょっと待った！！ ～そのスマホ 本当に必要ですか？～

29日は「ノーメディアデー」でした。各家庭ではどのような取り組みをされたのでしょうか。現在の生活を考えると、完全にメディアから離れるのは現実的ではないかもしれません。しかし、そんな社会だからこそ、無理矢理にでもメディアから離れてみて、そのよさに気付くとともに、使い方・付き合い方について考えることが必要なのだと考えています。今回は二本松一中学区として「ノーメディアデー」を実施していますが、各家庭独自に設定しながら考える機会をもって欲しいと願っています。



現代の社会では特に都会を中心に「スマホ所持」の低年齢化が進んでいます。都会だけでなく全国どこでも同じような状況にあるようにも思います。子どもたちは自分たちの都合のいいように「みんなもってるから・・・」または「〇〇さんがもっているから」と言うような理由をつけて親に認めてもらおうとします。親は親で「いつでも連絡がつくように」「みんなもっているのなら・・・」と所持を認めてしまうこともあるようです。

本当にスマホが必要ですか。スマホの長所だけを見ていませんか。スマホがなくては対応できませんか。スマホ利用の約束事が事前に確認されていますか。便利なところがある反面、使い方によっては大きなマイナスがあることは間違いありません。大丈夫ですか。本当によく考えてください。スマホを買い与えるのは親です。スマホによる子どもへの悪影響の責任は使っている子どもだけではありません。

現在スマホを所持している場合でも、その使い方をきちんとチェックしたり、約束を再確認したり、場合によっては停止・解約したりするのも親の責任の一つだと思います。

保護者の皆様からの声をお待ちしています。